

金融市場NOW

工作機械受注 回復の兆し見えず

新型肺炎の感染拡大懸念により受注額の反転には時間を要する

- 2020年1月の工作機械受注額は、前年同期比-35.6%の808億円となり、16ヵ月連続の減少。
- 米中貿易摩擦を受けた世界経済の不透明感の高まりなどから、企業が設備投資を控えたことが影響か。
- 新型肺炎の感染拡大や企業の設備投資抑制の継続などにより、工作機械受注の反転には時間を要するか。

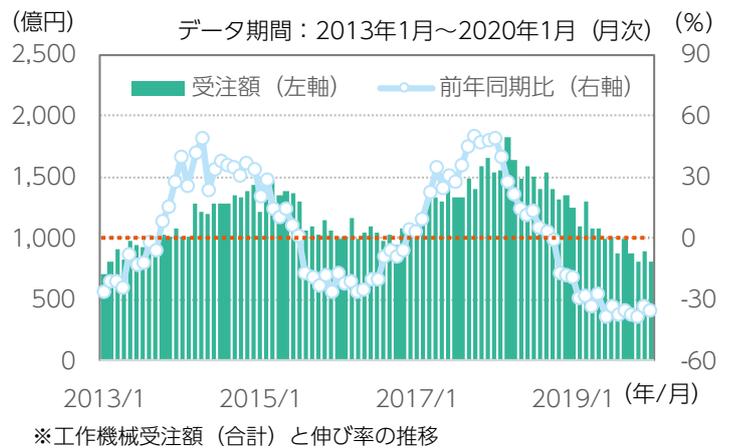
2018年初に米中の貿易摩擦の火種がくすぶり始め、同7月に米国が対中制裁関税第1弾を発動して以降、工作機械*受注額は低迷を続け、現在も回復の兆しが見られていません。

2月20日に日本工作機械工業会が公表した工作機械受注額（確報値）によると、2020年1月の受注額は前年同期比-35.6%の808億円で、16ヵ月連続の減少となりました（図表1上）。これは、およそ7年前のアベノミクスの開始時（2013年6月）と同程度の低水準です。内訳では、内需（国内向け）が同-36.7%で14ヵ月連続の減少、外需（輸出）が同-34.9%となり16ヵ月連続の減少となっています。外需の伸び率が前年同月比で-20%を下回るのは15ヵ月連続で（図表1下）、米中貿易摩擦による世界経済の不透明感の高まりなどから、企業が設備投資を控えたことが影響したとみられます。

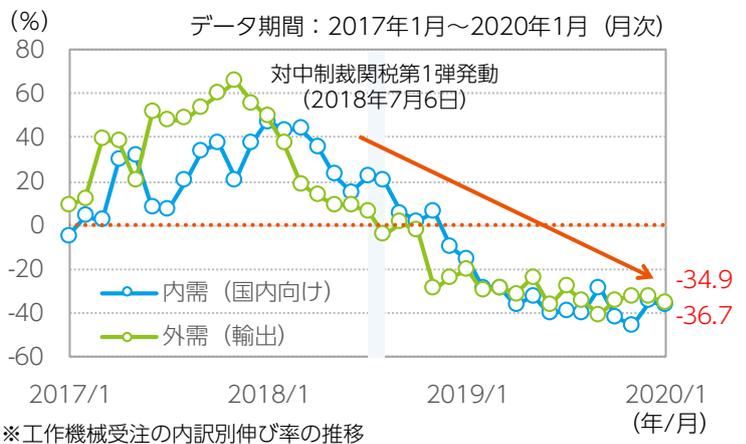
*工作機械は、さまざまな機械製品を加工・製造するのに必要な機械であることから“マザーマシン（母なる機械）”とも呼ばれている。また、工作機械の受注動向は各産業の設備投資の動向をいち早く表すことから景気の先行指数とされ、景気を見る上で重要とされている指標の1つ。

特に、中国向けの輸出の落ち込みが目立ちます。外需のうち中国向けが占める割合は2017年1月時点の31.4%から2020年1月時点には21.0%まで低下しています。米中貿易協力が第一段階合意に至り、受注額の低迷に歯止めがかかるものとみられていましたが、新型肺炎の感染拡大から今後はさらなる落ち込みが予想されます。中国経済の影響を受けやすい機械セクターの2月28日時点の株価は、前週末比で-8.7%の大幅下落となりました。感染拡大防止のために在宅勤務が推進される中、企業が工場の稼働抑制などに動けば、設備稼働率は低迷するとみられ（図表2）、新規の設備投資を控える動きは継続しそうです。景気の先行指数とされる工作機械受注額の反転には時間を要するものとみられます。

図表1：工作機械受注の伸びは不振が続く



◀内訳別受注額（前年同月比）▶



図表2：企業が新規設備投資を控える動きも予想される



出所）図表1は日本工作機械工業会、図表2は経済産業省のデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>